

## 採取病院紹介

第7回

## 高橋産婦人科クリニック

当クリニックは現在の院長が9代目の産婦人科専門個人病院です。S54年に当地にクリニックを開業して現在に至っております。阪神西宮駅から徒歩3分で交通至便に位置しています。

昨年、1年間の出産数は820名でした。自然分娩、母乳育児等、親と子のきずなをテーマにして頑張っております。臍帯血採取のきっかけは、あの阪神大震災に遭遇して5年目に落ち着きを取り戻した頃でした。沢山の方からの励ましやご支援を頂戴して感謝の気持で一杯でした。

ミーティングの席で院長をはじめスタッフが「これからは私達が社会に少しでも貢献してお返ししなくては」と話していた矢先に兵庫医大から献血協力のお話をいただきまして、喜んで、協力させて戴くことになりました。H13年3月から始めた頃は試行錯誤、失敗を重ねながら現在は採取技術にも慣れてきたように思います。呼びかけは、両親学級、ポスター、外来での妊婦相談時です。確実に臍帯血バンクに関心をもつ妊婦さんもかなり増えて参りました。

今後も多くの方の協力を得て臍帯血移植を願っておられる方のご期待に添いたいと思っております。出産後、提供して戴いた産婦さんと臍帯血バックを見ながら「この血液が必ずお役に立ちますように」と、願いを込めて。



私は助産婦という職業柄、臍帯血バンクの必要性を感じていたので、私の献血した血液が誰かのお役に立てるならばと考え、H14とH17の2回協力しました。

臍帯血は簡単に採血できて、白血病の方に非常に有効な手助けができますが、まだまだ血液が不足しているとききます。

一人でも多くの妊産婦さんが臍帯血バンクに関心をもってほしいと思いますし、今後、職場復帰した際には、一人でも多くの方に呼びかけ、献血する方の意志を大切に、お手伝いさせていただく側になりたいと思います。

高橋 恵子

